

新潟県立新潟県新潟南高等学校	基礎枠
認定第 I 期目	07～11

①令和7年度スーパーサイエンスハイスクール認定枠実施報告（要約）

① 取組の目的		地方の公立高校普通科において、質の高い課題研究をとおしてイノベーション人材に必要な資質・能力を全校体制で育む、産官学及び卒業生等の人材を有効に活用した持続可能な指導支援体制「江風SSHエコシステム」を、地域社会を巻き込んで構築し、全国の公立高校のモデルとなる。																																																																													
② 取組の概要		<p>1 持続可能な指導支援体制「江風SSHエコシステム」の構築・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒向け講演会、教員研修等における「江風サポーターズ」登録者の活用 課題研究における「江風サポーターズ」登録者からの支援体制の構築 <p>2 確かな専門性をもって挑戦し続ける科学技術イノベーション人材の育成</p> <p>○「江風探究ユニット」（1年生・総合的な探究の時間の一部）</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題発見力や仮説設定力など、課題研究に必要な基礎力を身に付ける <p>○「江風SSI」（1年生普通科理数コース・1単位）</p> <ul style="list-style-type: none"> データサイエンス、ミニ課題研究を通して統計学の知識や論理的な考察力を身に付ける <p>○「江風SSII」（2年生普通科理数コース・2単位）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各自が設定したテーマについて課題研究を行い、課題発見力、課題解決力を向上させる <p>○「江風SSIII」（3年生普通科理数コース・1単位）</p> <ul style="list-style-type: none"> SSIIをさらに追究・発展させて考察を深め、成果を発信する <p>3 身近な課題の解決により社会に貢献するイノベーション人材の育成</p> <p>○「江風探究ユニット」（1年生・総合的な探究の時間の一部）</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題発見力や仮説設定力など、課題研究に必要な基礎力を身に付ける <p>○「江風SSG」（2年生普通科・1単位）</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定したテーマについて、「良い問いを立てること」を重視し、主体的・協働的に課題研究を行う <p>4 グローバルな視点をもったイノベーション人材の育成</p> <p>○江風グローバル研修（2年生普通科理数コース+普通科希望者・SSII及びSSGの一部）</p> <ul style="list-style-type: none"> 海外提携校及びJICA研修員との課題研究を通じた国際交流活動を行う <p>5 授業改善に係る取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 教職員研修「イノベーション人材育成シンポジウム」の充実 ルーブリックの改善・見直し <p>6 科学技術人材育成に関する取組内容・実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> 「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA）」への参加 																																																																													
③ 令和7年度実施規模		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">第1学年</th> <th colspan="2">第2学年</th> <th colspan="2">第3学年</th> <th colspan="2">計</th> <th rowspan="2">対象</th> </tr> <tr> <th>課程</th> <th>学科</th> <th>生徒数</th> <th>学級数</th> <th>生徒数</th> <th>学級数</th> <th>生徒数</th> <th>学級数</th> <th>生徒数</th> <th>学級数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">全日制</td> <td>普通</td> <td>326</td> <td>8</td> <td>318</td> <td>8</td> <td>315</td> <td>8</td> <td>959</td> <td>24</td> <td rowspan="4">全校生徒を対象に実施</td> </tr> <tr> <td>（文系）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(156)</td> <td>(4)</td> <td>(148)</td> <td>(4)</td> <td>(304)</td> <td>(8)</td> </tr> <tr> <td>（理系）</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>(162)</td> <td>(4)</td> <td>(167)</td> <td>(4)</td> <td>(329)</td> <td>(8)</td> </tr> <tr> <td>理数コース</td> <td>40</td> <td>1</td> <td>41</td> <td>1</td> <td>40</td> <td>1</td> <td>121</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>366</td> <td>9</td> <td>359</td> <td>9</td> <td>355</td> <td>9</td> <td>1080</td> <td>27</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										第1学年		第2学年		第3学年		計		対象	課程	学科	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	全日制	普通	326	8	318	8	315	8	959	24	全校生徒を対象に実施	（文系）	—	—	(156)	(4)	(148)	(4)	(304)	(8)	（理系）	—	—	(162)	(4)	(167)	(4)	(329)	(8)	理数コース	40	1	41	1	40	1	121	3	計		366	9	359	9	355	9	1080	27	
		第1学年		第2学年		第3学年		計		対象																																																																					
課程	学科	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数																																																																						
全日制	普通	326	8	318	8	315	8	959	24	全校生徒を対象に実施																																																																					
	（文系）	—	—	(156)	(4)	(148)	(4)	(304)	(8)																																																																						
	（理系）	—	—	(162)	(4)	(167)	(4)	(329)	(8)																																																																						
	理数コース	40	1	41	1	40	1	121	3																																																																						
計		366	9	359	9	355	9	1080	27																																																																						

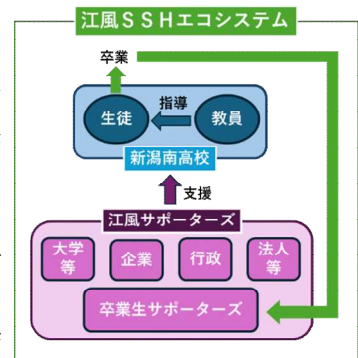
④ 取組の内容

1 持続可能な指導支援体制「江風SSHエコシステム」の構築と活用
異動による教員の入れ替わりなどであっても、課題研究の質を維持、向上させることができるよう、地域人材や卒業生（「江風サポーターズ」）と一体になった持続可能な指導支援体制を構築し、それらの効果的な活用を行う。

○「江風サポーターズ」による支援

「江風サポーターズ」に登録している大学、企業及び卒業生等を活用し、無償で探究活動の指導や助言を受けたり、講演会の講師派遣を依頼したりすることができた。また、県内の3大学と連携協定を締結し、講演会や出張授業、課題研究の指導などを無償で実施することができた。

「江風サポーターズ」の専門性により、生徒の課題研究の質、及び教員の専門性、指導力の向上が期待される。



サポーターの支援を受けた生徒が、本校卒業後にサポーターとなり、多様な他者と有機的に結びつきながら後輩を支援し、さらに次のサポーターを生み出す、人材の環流が実現することから「エコシステム」と名付ける

<R7年度 江風サポーターズ・連携大学等活用状況>

- 1年 研究倫理講演会（4月） …… 新潟薬科大学
- データサイエンス出張授業（9月） …… 開志専門職大学
- 研究テーマ設定相談会（2月） …… 新潟大学
- 2年 課題研究の指導（5回程度） …… 地元企業・卒業生

*ほか、校内の各種発表会等に参加し、指導・助言を行った。

2 確かな専門性をもって挑戦し続ける科学技術イノベーション人材の育成（普通科理数コース）

普通科理数コース（1クラス）の生徒を対象として、イノベーション人材に必要な資質・能力を育み、確かな専門性をもって挑戦し続ける科学技術イノベーション人材の育成を目指す。

<普通科理数コースの取組>

○「江風探究ユニット」（1年生・総合的な探究の時間の一部）

課題解決の基礎を学ぶため、「わたしのまち“新潟”の未来を創る仮説を実証しよう」というテーマで、新潟市や企業、大学などからの地域課題を受けて、課題研究のテーマ（行政・まちづくり 30 班、企業（企画・開発・企業）15 班、医療 16 班、マイプロジェクト6 班、グローバル 20 班、メディア・スポーツ・アート10 班）を設定し、個人またはグループでの課題研究を行った。

全体コーディネートを「NIIGATA マイプロジェクト☆LABO」に依頼し、全体計画のうち5時間の講師やファシリテーターを務めていただいた。その企画の一つである分野別ゲスト講演会（7月）では、行政や企業の方々々が各分野に分かれて講演や出前授業を実施した。

成果はスライドでまとめ、12月には1年生全員参加の発表会において全班が口頭発表を行った。

<分野別ゲスト講演会の協力団体・企業>

行政・まちづくり（新潟市役所）、医療（新潟県福祉保健部）、アート（新潟市芸術文化会館）
グローバル・メディア・出版（IPC財団）、企業・マイプロジェクト（株式会社 DERTA）
スポーツ（株式会社新潟レディースフットボールクラブ）

- 4～5月 探究ユニット① ガイダンス・2年生による取組紹介
- 7月 探究ユニット② 課題の発見と仮説設定、分野別ゲスト講演会
- 9～10月 探究ユニット③ 仮説の検証と発表準備
- 11～12月 探究ユニット④ スライド作成と発表
- 1～2月 探究ユニット⑤ 論文作成

○「江風SSI」（1年生普通科理数コース・1単位）

2年次以降の課題研究を高度なものにするため、課題研究の基礎としてデータ分析、実験手法、課題研究の仮説設定等に取り組んだ。

まず、データサイエンスの基礎講義（Excelの分析ツールを用いた基本統計量、ヒストグラム、相関係数、回帰分析などの学習）を実施し、その後、物理・化学・生物分野の模擬テーマ（振り子の周期とおもりの質量・糸の長さの関係性、マイクロスケール実験（チオ硫酸ナトリウム水溶液と塩酸との反応）、反応速度の計測（落下するものさしをキャッチしよう））を与え、ミニ課題研究を行った。これらの活動を通して、研究の作法と課題解決能力の基礎を身につけるとともに、データサイエンスで学んだデータ処理を実践した。

2月には新潟大学理学部と連携し、2年次以降の課題研究「江風SSII・SSIII」のテーマ設定相談会を実施した。物理・化学・生物・数学の各分野に分かれ、大学教員や大学院生などからテーマ設定に関するアドバイスを受け、テーマ設定・検証方法などを再考した。

4～7月 データサイエンス講義・演習

8～9月 理数通信作成・発表（各自興味のある内容について調べ、課題等についてまとめた）

9月 データサイエンス出張授業 ～生成AIの利用法～（講師：開志専門職大学）

9～11月 ミニ課題研究（物理・化学・生物）

12月 ミニ課題研究発表会

1～3月 課題研究テーマ設定

2月 課題研究テーマ設定相談会（於 新潟大学理学部）

○「江風SSII」（2年生普通科理数コース・2単位）

「江風探究ユニット」・「江風SSI」で育成した知識・技能を活用しながら研究テーマを設定し、大学等と連携しながら主体的かつ協働的に課題研究を行うことで、論理的思考力及び批判的思考力の育成を図った。

各班（1班3，4人）で研究テーマを設定（数学2テーマ、物理2テーマ、化学3テーマ、生物4テーマ）し、課題研究に取り組んだ。先行研究の調査を行い、仮説を立て、科学的手法に基づいた実験、データサイエンスを用いたデータ分析及び考察を行った。

9月には江風サポーターズ（卒業生）が来校し、実験方法やデータのまとめ方など困っていることについてアドバイスを行った。11月には中間発表（口頭発表、ポスター発表）を行うことで、研究内容の理解をより深め、発表する力を養った。また、運営指導委員や大学教員等の意見やアドバイスにより、研究内容の修正点や新たな課題が見つかり、それ以降の研究に生かすことができた。

10月からは課題研究と並行して「江風グローバル研修」に取り組むため、研究を継続しながら英語のスライド作成や発表準備に取り組んだ。

4月～ テーマ設定、仮説、実験・検証

6月 文華高級中等学校（台湾）来校（交流・研究紹介）

7月 新潟県SSH生徒研究発表会（長岡市：ポスター発表）

9月 SSII課題研究中間報告会（本校：江風サポーターズ（卒業生）によるアドバイス）

10月～ 文華高級中等学校（台湾）との交流（メッセージのやり取り等）*江風グローバル研修

11月 SSII課題研究中間発表会（本校：口頭発表、ポスター発表）

11～12月 英語スライド作成

1月 JICA研修員との交流①（異文化理解サイエンスワークショップ）*江風グローバル研修

2月 JICA研修員との交流②（課題研究に関するディスカッション）*江風グローバル研修

3月（予定）文華高級中等学校（台湾）とのオンライン合同発表会 *江風グローバル研修

3月（予定）SSG・SSII課題研究発表会（本校：英語スライドを用いた中間発表）

○「江風SSⅢ」（3年生普通科理数コース・1単位）

「江風SSⅡ」の課題研究（数学2テーマ、物理2テーマ、化学4テーマ、生物3テーマ）について、これまでの「江風SSⅡ課題研究中間発表会」や「江風グローバル研修」で受けた指導助言をもとに、研究内容を深掘りし、さらに追究・発展させて考察を深めた。

7月にはこれまでの成果を「江風SSⅢ課題研究成果発表会」においてスライドを用いた口頭発表を実施し、データ処理技術、統計データの活用能力、プレゼンテーション能力等の一層の向上を図った。

8月以降は論文作成に取り組み、その成果を校外の発表会、科学コンクール、コンテスト等で発表することにより、校内外に広く発信した。

また、後輩への引き継ぎや探究手法の継承のため、これまでの課題研究の振り返りを行い、今年度の課題や今後の展望等をまとめてデータベース化を行った。

- 4月～ テーマ設定、仮説、実験・検証
- 7月 SSⅢ課題研究成果発表会（本校：口頭発表）
- 7月 新潟県SSH生徒研究発表会（長岡市：口頭発表）
- 8月 SSH生徒研究発表会（神戸市：ポスター発表）
- 9月～ 論文作成・コンテスト応募・データベース化

3 身近な課題の解決により社会に貢献するイノベーション人材の育成（普通科）

普通科（8クラス）の生徒を対象として、イノベーション人材に必要な資質・能力を育み、身近な課題の解決により社会に貢献するイノベーション人材の育成を目指す。

<普通科コースの取組>

○「江風探究ユニット」（1年生・総合的な探究の時間の一部）

*普通科理数コースと同じ

○「江風SSG」（2年生普通科・1単位）

「江風探究ユニット」からの接続により、探究的な取組をより深化させて、大学や各外部機関と連携しながら全職員で課題研究の課題設定、研究の進め方、検証方法、科学的探究方法を学習する。自らの興味や地域の課題からテーマを設定し、大学や企業などと連携しながら主体的かつ協働的に課題研究を行くことで、論理的思考力及び批判的思考力の育成を図った。

4月には研究倫理講演会で研究倫理を学び、5月の分野別講演会では6分野に分かれ大学や企業、団体の方々、教員から、問いの立て方や実証方法、データ種別についての講演・ワークショップを行い、理解を深めた。また、江風サポーターズや外部機関と連携し、各分野で活躍されている方々にSSGの授業へ随時お招きしてお話を聞くことができた。9月には新潟大学の教授及び大学生から意見やアドバイスをいただくことで、研究内容の修正点や新たな課題が見つかり、それ以降の研究に生かすことができた。

さらに、施設見学やデータ分析、データ処理などについて、江風サポーターズや外部機関による支援により、課題研究の充実を図ることができた。3月には研究成果について、全員がスライドによる口頭発表を実施（予定）する。

- 4月～ テーマ設定、仮説、実践・実証
- 4月 研究倫理講演会（講師：新潟薬科大学）
- 5月 分野別講演会
- 9月 大学教員・大学生による指導助言
- 3月(予定)SSG・SSⅡ課題研究成果発表会（本校：口頭発表）

*月1回程度、SSG担当者会議を開催し、進捗状況や今後の進め方などを確認した。

4 グローバルな視点をもったイノベーション人材の育成（普通科理数コース及び普通科希望者）

2学年の普通科理数コース全員と普通科希望者を対象として、海外提携校生徒等との交流により、グローバルな視点をもったイノベーション人材を育成する。また、イノベーション人材に必要な資質・能力に加え、英語活用力を含むコミュニケーション能力及びチャレンジ精神を育む。

○江風グローバル研修（日本海・アジア文化圏交流）

海外提携校（台湾：台中市立文華高級中等学校）との対面やSNSによる交流、及び課題研究のディスカッション、発表会を実施した。また、JICA研修員との異文化理解サイエンスワークショップ、及び課題研究の指導・助言を受けることにより、国際的な視野の醸成にも取り組んだ。

「江風グローバル研修」を希望した普通科生徒の課題研究内容は、文華高級中等学校の交流班が扱うテーマと同じものとして課題研究に取り組んだ。類似するテーマについて研究することで様々な角度からのアプローチや、多様な価値観、グローバルな視点で物事をみる能力などが養われた。また、英語でのポスター作成、英語によるディスカッションを通して、専門的な研究内容を英語で表現する能力が身に付いた。

6月 文華高級中等学校来校

10月～ 文華高級中等学校との交流（メッセージのやり取り・研究内容紹介）

11～12月 SSⅡ・SSGの課題研究と並行して英語スライド作成

1月 希望生徒による文華高級中等学校訪問

2月 JICA研修員との交流①（異文化理解サイエンスワークショップ）

JICA研修員との交流②（課題研究に関する英語によるディスカッション）

3月(予定) 文華高級中等学校（台湾）とのオンライン合同発表会

5 授業改善に係る取組

教職員研修「イノベーション人材育成シンポジウム」において、他校からも4名の教員が参加し、本校SSH事業の目的や内容を教職員で再確認するとともに、本校の現状や課題への認識、本校独自の課題研究データベースの活用法等の情報共有を行った。

また、江風標準ルーブリックについて再検討するため、各グループに分かれてKJ法による課題や改善点を明確にし、ルーブリックの見直しについて議論を深め、今後の指導と評価の一体化に対する意識を高めた。

6 科学技術人材育成に関する取組内容・実施方法

○「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA）」への参加

新潟大学が実施する「次世代科学技術チャレンジプログラム（STELLA）」にエントリーコースに7名の生徒が受講し（1年：女子5名、2年：女子2名）、新潟大学の教員と研究行うドクターコースには3名の生徒が受講し（2年：男子1名、女子2名）、うち1名はJST主催の「サイエンスカンファレンス2025」において、受講生投票賞を受賞した。受賞した研究内容は3月に行われるSSG・SSⅡ課題研究成果発表会で校内の生徒に成果を発表（予定）する。

また、ドクターコース受講者のうち2名は、新潟大学の事業であるインド研修に選ばれるなど、科学技術人材育成に関する取組への積極的な参加が成果に繋がった。

○取組・成果の発信

本校のHPやnoteを活用することで、探究力育成プログラムの進捗状況や成果を可視化し、本校の探究力育成プログラムを全国に普及させるとともに、校内記録としても利用している。noteに取組の活動や生徒の様子を逐一掲載することで、いつでもだれでも簡単に内容や状況を確認、振り返ることができ、持続可能な事業に資するものとしている（令和8年2月現在 年間28件掲載）。

また、全校体制で課題研究に取り組んだ成果として、進学実績等をHP等で外部に発信し、本事業の効果を具体的に示す。

<関係資料>

1 運営指導委員会

第1回SSH運営指導委員会

1 日時 令和7年7月25日(金) 15:50~16:50

2 会場 新潟県民会館 リハーサル室

3 参加者 SSH運営指導委員
新潟県教育庁高等学校教育課職員
新潟南高等学校職員

4 内容

① 令和6年度SSH事業(第IV期経過措置2年目)実施報告について

② 令和7年度SSH事業(認定枠)計画および実施状況について

5 協議

- ・(全校生徒約1,100人が参加した新潟県民会館大ホールでの課題研究成果発表会について)迫力のある発表会となり、これから活動が本格化する1、2年生にも響いたと思う。
- ・全体的には、難しい実験をやりがちになっていて、結果を得ることが難しくなっている班が多い。トライ&エラーの繰り返しが大切なこともわかるが、結論を導くためのステップが深く考えられていないように感じる。文献を読んでいないために、最後までたどり着けていないことが残念である。
- ・生徒は興味・関心がある身近なテーマを考えると、ニュースでよく聞く内容をテーマにしがちであり、難しいことをやりたがる。そうするとなかなか結果が出ないことが多い。結果が出なくても、思うようにいかないことを経験することも大事だと思う。
- ・文献を読むことに尽きる。結果が既に出ていること、同じことをやっている。どこか一箇所でも違うことをやってみることが大切である。
- ・『make n の暗号への応用』は難しいテーマではあったが、一番成果を出した内容だった。暗号化の部分について更に深めることができると良い。
- ・“研究をさせたいのか”それとも、“研究をさせる過程を学ばせたいのか”身につけさせたいもの、どこに力点を置くのかについて明確にすべきである。
- ・“わかっていること”と“わかっていないこと”の整理が必要であり、“わかっていないこと”からリサーチクエスションへと繋げていく必要がある。研究を進めるにあたり、生徒は急ぐし、焦ってしまう。限られた時間の中で、どうバランスをとるのか、教員がコントロール(誘導化)していく必要がある。
- ・研究内容が、今の技術を“モデル化する”のではなく、“実用化する”方向にいつてしまっていることが難しくなっている原因の一つであると思う。
- ・大学や企業、県のサポートを受けて、“新潟の若者をどう育てるのか”を考えていかななくてはいけない。
- ・卒業生には市内で活躍している方も多く、それらの方々から支援をしていただくことも我々の仕事である。卒業生の産業界で活躍している人の“こんなことをやりたい”という考え方を、次に繋げていくが大事である。
- ・研究テーマについては、先輩の研究を引き継がせることも促した。『make n の暗号への応用』についても先輩の研究を引き継いだものであった。結果的には11班中3班が引き継いだ。
- ・研究・探究については、成果を出すことも大事だが、探究における試行錯誤も大切と考えている。
- ・数ある制約のなかで“どこを身につけるのか”が大切となってくる。
- ・データサイエンスについては、何かしら新潟大学も協力できる体制をつくりたいと考えている。

(開催予定)

第2回SSH運営指導委員会

1 日時 令和8年3月17日(火) 15:40~16:40

2 会場 新潟県立新潟南高等学校 図書館2階

3 参加者 SSH運営指導委員、新潟県教育庁高等学校教育課職員、新潟南高等学校職員

2 教育課程表

令和5・6・7年度入学生 教育課程表

新潟県立新潟南高等学校

教科	科目	標準 単位	1年		2年			3年		
			普通科	普通科 理数コース	普通科 文系	普通科 理系	普通科 理数コース	普通科 文系	普通科 理系	普通科 理数コース
国語	現代の国語	2	2	2						
	言語文化	2	3	3						
	論理国語	4			3	2	2	3	2	2
	文学国語	4								
	国語表現	4								
地理歴史	古典探究	4			3	3	3	4	3	3
	地理総合	2	2	2						
	地理探究	3			3	2	2	3	3	3
	歴史総合	2	2	2						
	日本史探究	3			3	2	2	3	3	3
公民	世界史探究	3			3	2	2	3	3	3
	公共	2			2	2	2			
	倫理	2						3		
政治・経済	政治・経済	2						2		
	数学Ⅰ	3	3	3						
	数学Ⅱ	4	1	1	3	3	3			
数 学	数学Ⅲ	3							5	5
	数学A	2	2	2						
	数学B	2			2	2	2			
	数学C	2						2	2	2
	数学総合Ⅰ							2		
	数学総合Ⅱ								5	5
	物理基礎	2	2	2						
理 科	物理	4				2	2		4	4
	化学基礎	2	2	2						
	化学	4				2	2		4	4
	生物基礎	2	2	2						
	生物	4				2	2		4	4
	総合理科				2					
	総合化学							2		
総合生物							2			
保健体育	体育	7-8	2	2	2	2	2	3	3	3
	保健	2	1	1	1	1	1			
芸 術	音楽Ⅰ	2	2	2						
	美術Ⅰ	2	2	2						
	書道Ⅰ	2	2	2						
	音楽Ⅱ	2								
	美術Ⅱ	2								
	書道Ⅱ	2								
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4	4						
	英語コミュニケーションⅡ	4			4	4	4			
	英語コミュニケーションⅢ	4						4	4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2	2						
	論理・表現Ⅱ	2			2	2	2			
	論理・表現Ⅲ	2						2	2	2
家庭	家庭基礎	2			2	2	2			
情報	情報Ⅰ	2			2	2	2			
学校設定教科 SSH	江風SSⅠ			1						
	江風SSⅡ						2			
	江風SSⅢ									1
	江風SSG				1	1				
教科科目単位数計			32	33	32	32	33	32	32	33
特別活動	ホームルーム	3	1	1	1	1	1	1	1	1
総合的な探究の時間			3	1	1	1	1	1	1	1
履修単位数合計			34	35	34	34	35	34	34	35
〔備考〕										
(1) 普通科は2学年より文理分けをする。										
(2) 「SSH」は学校設定教科である。										

令和6・7・8年度入学生 教育課程表

新潟県立新潟南高等学校

教科	科目	標準 単位	1年		2年			3年		
			普通科	普通科 理数コース	普通科 文系	普通科 理系	普通科 理数コース	普通科 文系	普通科 理系	普通科 理数コース
国語	現代の国語	2	2	2						
	言語文化	2	3	3						
	論理国語	4			3	2	2	3	2	2
	文学国語	4								
	国語表現	4								
地理歴史	古典探究	4			3	3	3	4	3	3
	地理総合	2	2	2						
	地理探究	3			3	2	2	4	3	3
	歴史総合	2	2	2						
	日本史探究	3			3	2	2	4	3	3
公民	世界史探究	3			3	2	2	4	3	3
	公共	2			2	2	2			
	倫理	2						4		
数学	政治・経済	2						4		
	数学Ⅰ	3	3	3						
	数学Ⅱ	4	1	1	3	3	3			
	数学Ⅲ	3							5	5
	数学A	2	2	2						
	数学B	2			2	2	2			
	数学C	2						2	2	2
	数学総合Ⅰ							2		
数学総合Ⅱ								5	5	
理科	物理基礎	2	2	2						
	物理	4				2	2		4	4
	化学基礎	2	2	2						
	化学	4				2	2		4	4
	生物基礎	2	2	2						
	生物	4				2	2		4	4
	総合理科				2					
	総合化学							2		
総合生物							2			
保健体育	体育	7-8	2	2	2	2	2	3	3	3
	保健	2	1	1	1	1	1			
芸術	音楽Ⅰ	2	2	2						
	美術Ⅰ	2	2	2						
	書道Ⅰ	2	2	2						
	音楽Ⅱ	2								
	美術Ⅱ	2								
	書道Ⅱ	2								
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4	4						
	英語コミュニケーションⅡ	4			4	4	4			
	英語コミュニケーションⅢ	4						4	4	4
	論理・表現Ⅰ	2	2	2						
	論理・表現Ⅱ	2			2	2	2			
	論理・表現Ⅲ	2						2	2	2
家庭	家庭基礎	2			2	2	2			
情報	情報Ⅰ	2			2	2	2			
学校設定教科SSH	江風SSⅠ			1						
	江風SSⅡ						2			
	江風SSⅢ									1
	江風SSG				1	1				
教科科目単位数計			32	33	32	32	33	32	32	33
特別活動	ホームルーム	3	1	1	1	1	1	1	1	1
総合的な探究の時間			3	1	1	1	1	1	1	1
履修単位数合計			34	35	34	34	35	34	34	35
〔備考〕 (1) 普通科は2学年より文理分けをする。 (2) 「SSH」は学校設定教科である。										

3 課題研究・探究活動テーマ一覧

江風SSⅢ(3年生・普通科理数コース)

	分野	課題研究テーマ
1	数学	組合せゲーム理論における必勝交替について
2	数学	make n の暗号への応用
3	物理	液状化と住宅基礎の関係
4	物理	風力発電の効率化
5	化学	災害時に使える非常用電池
6	化学	機能性塗料による湿度の計測とMagnetic board
7	化学	木材の変色反応と脱色
8	化学	もみがら活性炭で水質浄化
9	生物	プラナリアの再生に要する時間解析 ～温度による差異～
10	生物	イシクラゲの窒素固定を利用した植物の育成法
11	生物	クモの糸の性質

江風SSⅡ(2年生・普通科理数コース)

	分野	課題研究テーマ
1	数学	カウントNの必勝法
2	数学	折り紙でいろいろな数を表す
3	物理	雪に強い柱の構造
4	物理	マグヌス効果による植物の種子の飛行
5	化学	ロッシェル塩が繋ぐ結晶と電気
6	化学	新潟の規格外品青果を活用した発酵・抽出による化粧水開発
7	化学	入浴剤による金属腐食について
8	生物	アニサキスやっつけ隊 ～家で魚を安全に食べよう～
9	生物	甘さと短期記憶 ～打糖!!甘党～
10	生物	身近な有毒生物の毒の利用法
11	生物	イシクラゲの肥料における活用について

江風SSG(2年生・普通科 文系理系)

人文(文学・メディア・歴史・芸術)

班	課題研究テーマ
1	学生の読書離れはなぜ進んでいるのか
2	音楽と小説はお互いにどのような影響を及ぼしてきたのか
3	なぜ欧米の文化が入ってきたのに日本人の価値観はおくゆかしいのか
4	なぜ人はSNSに投稿するのか
5	テレビを盛り上げるためにはどうすれば良いのか
6	どうしたら良い文章を書けるか
7	なぜ日本語は他言語と比べ一人称の表現が多様になったのか
8	精神障害をもった人を減らすには
9	トラブルをなくす情報発信の仕方とは

行政・法学

班	課題研究テーマ
10	日頃からできる地域での効果的な防災は?
11	どうすれば新潟への流入を増やせるか
12	新潟の魅力を伝えるには?
13	SNSの自由をどのように制限すれば、誹謗中傷を減らせるのか
14	知らず知らずのうちに犯罪に関わることを防ぐためには
15	法律が変化している今、校則は変えなくて良いのか
16	法律が歴史にともなっていてどのように変化し、なぜ法が欠かせないものとなっているのか。
17	法は本当にすべて人を平等に守っているのか
18	少子化を抑制するためにはどのような支援が必要か
19	人口減少を止めるにはどうしたら良いか
20	時間的な子育て支援をすれば、子供の数が増えるのではないか
21	部活動の義務化はどうなっていくべきか
22	若い世代の投票率を上げるには、どうしたらよいか?
23	学習用iPadの配付により実際に学力に良い影響を与えているのか

統計・情報・プログラミング

班	課題研究テーマ
24	地域の影響を受けやすいコンビニ商品は何か
25	レンタサイクルの1回あたりの利用料金を減らす方法
26	新潟市の財政をよくするには
27	どうしたら新潟市がラーメン消費量ランキング全国一位になるか
28	食品の生産量と飢餓の少なさは比例しているか
29	プログラミングを活用して投票率を改善するには
30	南高校を舞台にしたゲームを作ることで、楽しみながら南高校を知ってもらえるのではないか

医療・看護/福祉/健康

班	課題研究テーマ
31	手洗いのときに石鹸に代用できるものは何か?
32	少子高齢化や医療の発展による医師の負担を軽減するには
33	食品の価格上昇は人の健康にどのような影響を与えるのか
34	心が体に及ぼす影響と自分の心との付き合い方
35	安心して飲めるコーラを作ろう!
36	医療とメンタルヘルスのつながりとは?～最新技術の利用～
37	日本で放射線治療を広く普及させるには?
38	どうすれば少子化の進行を遅らせることができるか
39	医療機関の負担を軽減するには?

物理・工学・建築

班	課題研究テーマ
40	どのようにしたら楽に椅子を持てるのか
41	風力発電において一番効率のいい羽の形は?
42	生活で自分たちで少しの電気を生み出すには
43	翼や重心の位置はどのように飛距離と関わっているか
44	心柱の長さで耐震の強度に変化はあるのか?
45	津波がきても倒れない建物とは?
46	コスバよく強度を確保できるイスの構造はどのような形か
47	集中力が続くには、どのようなデザインが環境が良いのか
48	災害に強い都市構造とは
49	15平均律音階は周波数の規則の関係で、他の音との協和音はどうなるのか

江風SSG(2年生・普通科 文系理系)

化学

班	課題研究テーマ
50	果物を使った銀鏡反応
51	肌に優しい化粧品とは？
52	酸化防止作用について～酸化するまでの時間をのばすには～
53	食品の保存～食べ物を長く保存するには？～
54	チョコレートの再生
55	カゼインプラスチックで食品サンプルを作ろう

生物・農学・自然環境

班	課題研究テーマ
56	日本の森林
57	魚と音楽の関係について
58	有機農業の生産を安定させるにはどんな方法があるのか
59	鳥の声を利用することで鳥の行動を制御できるか

マイプロジェクト

班	課題研究テーマ
60	翡翠という天然資源を地域産業に活かしながら、自然環境をどう守っていくか。
61	どのようにしたら自分を好きになれるのか。
62	法律の内容の違いにはどのようなものがどんな影響を与えているのか。
63	「性別における多様性」って何？
64	どうすれば自分の意思でスマホをコントロールできるか？
65	教師の総数が減少している今、子供を正しい方向へ伸ばしていくにはどうすればよいか。
66	一人一人の違った個性や悩みをもつ人たち同士が生活する上で大切なことは？
67	①学校を楽しむためには？ ②学ぶことを楽しむためには？
68	新潟の米農家の収入を増やすにはどうしたらよいか
69	地理→歴史→政治の流れについて
70	アルビ、アルビレディースの知名度を高め、観客数を増やし、サポーターを増やすには？

スポーツ・ビジネスプラン・経営学

班	課題研究テーマ
71	負けないチームを作るには？
72	ケガをしない体になるためには？
73	筋肉量と運動パフォーマンスはどのような関係があるのか
74	地元のスポーツを多くの人に周知、多様な人に身近に
75	高校生に投資を普及させるにはどうすればいいか？
76	生徒が欲しいものとは。
77	独居老人の孤独緩和と健康維持について
78	学生のニーズに答えられるような商品を開発するには？

まちづくり・国際

班	課題研究テーマ
79	多世代で未来のまちについて考えてもらうにはどんなアプローチが有効か
80	未来につながる古町
81	古町の魅力をZ世代に知ってもらうには？
82	新潟の環境への意識を向上させるには？(ごみ問題)
83	古町イベント 企画・発信
84	フリーペーパー(レトロシティ古町)
85	会話で使える英語力
86	新潟の国際交流イベント
87	外国人にとって暮らしやすい新潟とは

江風SSG(2年生・普通科 江風グローバル研修参加者)

班	課題研究テーマ(SDGs)
91	ラーメンのスープを健康や環境に配慮しながら楽しむ方法はあるのか。
92	フェアトレードを普及させるために私たちにできることは何か？
93	スラムツーリズムについて世界中の人々に知ってもらうこと。
94	生活の違いに関して知り、お互い理解するにはどうすればよいか。
95	自分の国籍外の国でも安心安全に過ごせる社会にするには？

江風探究ユニット（1年生普通科・普通科理数コース）

行政・まちづくり

班	探究タイトル
A	消費税率を変えた時に起こること？～丁度良い消費税を目指して～
B	SNSの活用で、地域の魅力発信をできるのでは？～過疎地域の居住者を増やそう！！～
C	人々の防災意識はどうすれば高められるか？
D	どうすればみんなに新潟の良いところを知ってもらえるか？～新潟のイトコ～
E	選挙の投票率を上げるにはどうすればよいか？～人々がまちの行政に積極的に関わる未来～
F	どうしたらポイ捨てを減らすことができるのか？～綺麗な街を目指して～
G	新潟の魅力発信力を高めていくには？SNS活用で知名度が上がった新潟へ～
H	新潟県民に興味を持ってもらえるような魅力は何か？～都市部に負けない街を作るために～
I	AIを駆使した活性化を目指す～新潟を全国へ～
J	子どもが安全に暮らせる社会をつくるためには何が必要か？
K	祭りが作るコミュニティとは？
L	どうすれば少子化を解消できるか？～活気あふれる社会を目指して～
M	どうすればポイ捨てをなくすことができるのか？～綺麗な新潟を目指して～
N	どうしたらストレスフリーな通学を実現できるか～新潟の活性化を目指して～
O	どのような街になればさらに暮らしやすくなるか？～子供から高齢者まで暮らしやすい最強の新潟～
P	防災の意識を高めるにはどうすればいいか？～みんなの防災の意識を高めて幸せな社会を守る未来～
Q	どうすれば信号のない横断歩道で車が止まってくれるか？～住みやすい新潟を作ろう～
R	New新潟アップデート計画
S	どうすれば新潟の魅力を発信できるのか？～新潟の新たな魅力の発見を目指して～
T	どうしたらゴミを減らせるか？～ゴミ拾いの意識をあげよう～
U	若者が活躍できる未来～全ての世代に愛される新潟を目指して～
V	自転車事故を減らすにはどうすればいいか？～自転車の交通マナー向上を目指して～
W	どうすれば外国人が困らないか？～みんなが困らないために～
X	食べ物や駅周辺だけでなく新潟の魅力を広めるためにはどうすればいいか？～祭りから広げる可能性～
Y	進学のための中高生への支援について～若者が経済面で不自由なく将来望んだ道に進むためには～
Z	どうすれば人との関わりが増えるのか？～自慢できる地域社会をつくる！～
AA	日本人の睡眠時間を適切にするには？～睡眠不足社会から抜け出すために～
AB	ラストワンマイル問題を解決するには？～より過ごしやすい新潟を目指して～
AC	信濃川を綺麗で環境に優しい川にするには～ゴミ拾いは環境保全の第一歩～
AD	その一手が未来を変える！～どうすればゴミの分別が正しく行われるか～

企業（企画・開発・起業）

班	探究タイトル
A	キャッシュレス決済との上手な付き合い方は？～現金とキャッシュレス決済が無理なく共存するためには～
B	貯金だけじゃもったいない！～投資の世界で高校生に可能なことは～
C	どうすれば新潟により人が集まるのか？～人がより集まって話題性のある新潟へ～
D	どうすれば農産物を使った商品で新潟の地域をおこすことができるのだろうか？～農産物を使った商品で地域おこし
E	新潟市の人々が生活に求めていることは何か？～より過ごしやすい新潟市へ～
F	動物によって人間はどう変化するか？～動物と関われば心身に良い変化があるのではないか～
G	新潟のお菓子を広めるには？～南校生を笑顔に～
H	新潟の特産品の魅力を知ってもらうにはどうしたらいいか？～笑顔溢れる新潟を目指して～
I	高校生の悩みを解決する商品とは？～生活を改善するためには～
J	どうすれば新潟の経済は盛り上がるのか？～若者を惹きつける新潟を目指して～
K	協力できる地域環境をつくるには？～強力な協力をつくろう～
L	どうやったら購買意欲は向上するのか？～距離と売り上げの関係～
M	お米の消費量を上げるには？～もっと食べよう！お米の魅力再発見！～
N	地域資源をどう活用すれば地域を活性化できるか？～地域愛あふれるまちへ～
O	高校生の日常生活による負担はどうすれば改善できるか？～過ごしやすい日本を目指して～

マイプロジェクト（実践型探究）

班	探究タイトル
A	パフォーマンスの向上？～質の高い人生を目指して～
B	子供達に食べる幸せを～新潟中に美味しいの輪を広げたい～
C	効率を学力に変える～勉強の極意～
D	自分の目指す走りとは？～走りの極意～
E	ねことくらす～地域猫との共存～
F	どうすれば自分の強みを最大限出せるか？～将来社会で生かすために～

江風探究ユニット（1年生普通科・普通科理数コース）

医療

班	探究タイトル
A	紫外線と健康の関係～紫外線で起こる病気を減らすために～
B	どのような食生活をすれば健康寿命を伸ばせるのか？～平均寿命と健康寿命を近づけられる未来～
C	保護者の運動習慣はどうなっているのか？～身近な人の健康を目指して～
D	高校生の悩みとは、それを解決するには？～ちょっとでも心が軽くなる生活へ～
E	どうしたら少子高齢化が進む中、医療界の人手不足を解決できるのか？～医療界の安定を目指して～
F	どうしたら健康診断の受診率が上がるか？～みんなが健康に過ごせるために～
G	花粉症を軽減させるにはどうすればいいか？～花粉に困らない生活～
H	どうすれば新潟県の医療従事者の人手不足を解消できるか？～持続可能な医療体制を目指して～
I	オーバードーズをする人をゼロにするには？～すべての人が楽しく健康に暮らせる未来を目指して～
J	少子高齢化による医療の逼迫改善～のびのび心やすらぐ子育てCity～
K	安楽死の制度化は日本社会にとって望ましい選択か？～世界と比較した日本の終末期医療について～
L	医療 with AI～医療を活性化させるために私たちができること～
M	食事によって睡眠の質を上げるには？～睡眠に関する悩みのない未来～
N	健康になろう！～心拍数を下げて集中力を高めよう～
O	救急、どうレスキュー？～必要な人が躊躇せずに救急車を呼ぶことができる社会～
P	目を大切に～視力低下を防ぐ～

グローバル(平和・観光・SDGs)

班	探究タイトル
A	どうすれば高校生の放課後や休日の友達や家族と過ごす時間が楽しいものになるのか？～高校生の充実を目指して～
B	どうすれば無駄になるゴミの量を減らせるのか？～学校から変えるゴミ分別～
C	SNSは戦争にどのように影響を与えるのか？～SNSを通じてのムーブメントにより、戦争を抑止することはできるのか？～
D	どのようにしたら海のごみの量を抑えられるのか？～海をきれいに～
E	どうすれば食に興味を持ってもらえるか？～食品ロスゼロへの道～
F	どうしたら文化の違いによる差別を減らすことができるのか？～互いの生活や文化に理解を持つよう～
G	どうすれば環境問題に対する意識を行動に移せるか？～誰もが住みやすい新潟市へ～
H	経済格差を小さくするには？～世界中の人々が平和で安全に暮らせる社会～
I	新潟市の海のプラスチックゴミを減らすにはどうしたら良いか？～ポイ捨て0を目指して～
J	世代間の偏見をなくしていくための最善の方法とは？～最善の方法を求めて～
K	新潟市にきた外国人が快適に過ごすためには？～新潟に多くの外国人が来る未来～
L	どうしたら新潟の海がきれいになるのか？～新潟の海ごみ削減へ～
M	温室効果ガスを削減するには？～メタンガスの削減・活用～
N	どうしたらフードロスを減らせるか？～人々の意識は？～
O	差別とどう向き合うか？～平等な社会を目指して～
P	SDGsの意識を高めてもらうには？～綺麗な南高を目指して～
Q	ゴミを減らすには？～気持ちの良い環境づくりを～
R	ロスフラワーを減らすには？～ロスフラワーを減らし、新潟の経済・環境状況を改善する～
S	どうしたら犬や猫を捨てないようにできるか？～動物の幸せのために～
T	悩みを相談しやすくするには？～自ら命を絶つ人が減る社会を目指して～

メディア・出版

班	探究タイトル
A	本をもっと気軽に身近に感じてもらうには？～南高生の読書率を上げる～

スポーツ

班	探究タイトル
A	どうすれば怪我はを防げるのか？～怪我なく練習を積むことができるために～
B	どうすればスポーツで南高を盛り上げることができるか？～南高生が運動に触れるために～
C	スポーツにおけるデジタル活用？～技術を向上させるために～

アート

班	探究タイトル
A	音楽やメイクなどのアートで前向きになったり自己肯定感を上げるために何ができるだろう？
B	アートに対する壁をなくすためには？～アートを身近で楽しいものに～
C	音楽が人に与える影響とは？～心と体への効果を読み解く～
D	目を惹く構図を作るには？～多くの人に読まれるポスター制作～
E	音楽は人にどのような影響を与えるのか？
F	バズる音楽とはなにか？～過去から未来を予測する～